

## 間伐材再利用プロジェクト

団体名 多摩美術大学 studioJACA

代表者名 伊藤恵理菜

### ①事業内容

長池公園に保管されている間伐材を利活用しながら、地域の子どもたちが自然や美術に触れることができるイベントを開催。

当日のイベントを「出張芸術祭」と題することで、地域の方に親しみやすい「祭」「イベント」と認識してもらえるよう企画した。

studioJACAのアニメーションスタジオとしての強みを活かし、当日はアニメーション上映会も開催し、地域の方に楽しんでもらうとともに、学生の発表の場を提供することも目的とした。

### ②実施報告

本事業を実施するにあたり、事前に近隣の小学校5校の全校生徒にチラシ約1800枚を配布。近隣のマンションにも音が響くかもしれない旨のご挨拶と、チラシでの宣伝を行った。

1月12日、イベントを開催することができた。当日朝雨が降りそうだと判断し、長池公園自然館室内、工作室で開催することとした。



晴天の場合、自然館外の姿池付近に屋台やお囃子を設置、室内では上映会のみを開催する予定だったが、今回は工作室内に屋台と上映会場

を併設した。屋台は5店舗設置する予定だったが、工作室の大きさに合わせて4店舗に規模を縮小。



外での呼び込みの様子

室内だけの開催は人の呼び込みが難しい。雨が降りそうだったのは朝だけで、昼からは晴れてきていた。そのため、キッチンカー3台も長池公園内に来ていただくことができた。キッチンカー前を中心に、多摩美ジャンベ部の民族楽器（打楽器）と、ポータブル電源を使用した電子キーボードで笛のような音を奏でながら公園内を周回、公園内の方々にチラシを配布し、自然館で開催していることを宣伝した。

4店舗の屋台は、釣り・占い・お面とブンブンごまワークショップを設置。それぞれ間伐材を使用した装飾や道具を制作、1回200円で体験とお菓子を提供した。



釣りの様子 釣竿に長池公園の枝を使用



占いの様子 くじ引きの棒・装飾に間伐材を使用



イベントのチラシ

当日、2回上映会を行い、多くの方に見ていただいた。上映会が気になって自然館に来た方に、屋台に寄っていただくことができたのは、室内開催の利点だった。



上映会の様子 多くの方に来ていただいた。

### ③事業を実施した感想

まず反省点として、公園の入り口からイベント実施場所である自然館まで距離があることで、集客が難しくなっていた。急遽室内開催に変更になったことで集客まで考えられず、公園内にいる人全てにこの事業を知ってもらうことはできなかった。

今回、去年と違う点としてもう一つ、上映会の開催があった。来場者の方々からかなり好評だったため、今後もアニメーション上映会は続けていく予定だ。

屋外で開催できなかったことが心残りではあるが、去年と違う内容で実施したことで、またひとつ前に進むことができたと考えている。

来年も何らかの形で開催したい。